

警察本部

(予 算 額) (決 算 額)

I 警察本部費

1 情報管理業務事業 541,277 531,423 運転者の管理や捜査活動を支援するコンピュータ関係機器の運用及び維持管理を行った。

II 警察施設費

1 地域警察活動拠点整備事業 82,179 79,598 駐在所（1箇所）の新築工事等を行った。

2 大規模災害時における災害対処能力の強化事業 24,752 21,208 大規模災害時における警察署機能を確保するための代替施設整備に係る設計等を行った。

(前年度繰越分)

1 警察学校庁舎新築事業 310,000 308,277 警察学校新築移転に伴い、用地を購入した。

III 運転免許費

1 運転免許事業 771,161 734,408 運転免許試験の実施、運転免許証の作成・交付を行うとともに、交通事故防止を推進するための各種講習を行った。

IV 警察活動費

1 警察装備事業 480,355 452,869 警察活動の基盤となる警察官用被服、公務用車両等の更新及び維持管理を行った。

2 一般犯罪捜査活動事業 528,854 519,099 殺人、窃盗等刑法犯の捜査活動及び犯罪鑑識等科学捜査活動の充実を図った。

3 組織犯罪捜査活動事業 45,845 42,452 来日外国人犯罪、暴力団犯罪等組織犯罪事件捜査活動の充実を図った。

4 生活安全活動事業 121,015 115,066 こども・女性の安全確保等による犯罪防止対策など生活関連事件捜査活動の充実を図った。

5 地域警察活動事業 438,092 425,899 地域住民の安全と平穏を守るため、通信指令システムの維持管理及び交番・駐在所の活動の充実を図った。

6 交通警察活動事業 225,233 214,380 交通事故を防止するための交通安全教育活動や、道路交通の安全を確保するための交通指導取締りの充実を図った。

7 交通安全施設整備事業 643,429 589,976 交通規制センターの整備、交通信号機の新設・改良及び道路標識・標示等交通安全施設の整備を実施し、交通の安全と円滑化を図った。

8 交通安全施設維持管理事業 448,503 410,688 交通規制センター設備及び交通信号機等の交通安全施設の維持管理を行い、交通の安全と円滑化を図った。

〔 翌年度繰越額 〕
51,811

9	犯罪被害者支援事業	4,985	4,280	犯罪被害者等の精神的被害の回復・軽減及び経済的負担の軽減のための支援を行った。
10	放置駐車対策事業	66,150	64,494	放置車両確認事務委託等を行った。
11	警衛警備事業	62,498	32,547	第35回全国「みどりの愛護」のつどい開催に伴う警衛に向けた各種調査・諸準備を行った。
12	総合的なサイバーセキュリティ対策の強化事業	50,487	46,462	サイバー空間における安全・安心を確保するためのサイバー人材の育成及び解析体制の強化を行った。
13	大規模災害時における災害対処能力の強化事業	93,056	83,777	大規模災害時における迅速な被害状況の把握と円滑な救助活動の強化を行った。
14	サイバーパトロールのAI化事業	10,543	10,534	サイバー空間における少年の被害防止と有害環境の浄化のためのサイバーパトロールを行った。
15	捜査支援体制の強化事業	20,815	20,813	解析用資機材の充実により組織全体の解析レベルの向上を図った。
(前年度繰越分)				
1	交通安全施設整備事業	73,938	63,819	電線類地中化整備や交通信号機の新設整備等を実施し、交通の安全と円滑化を図った。
2	総合的なサイバーセキュリティ対策の強化事業	34,068	34,067	サイバー空間における安全・安心を確保するためのサイバー人材の育成及び解析体制の強化を行った。